

研究課題名	院内肝炎ウイルス陽性者の実態調査
研究の意義・目的	B 型肝炎や C 型肝炎治療の進歩により、肝炎ウイルス検査（HBs 抗原および HCV 抗体検査）を受け、陽性と判定された患者さんが肝臓専門医を受診し、適切な治療を受けることが重要と考えられています。しかし、陽性の患者さんの中には受診や治療をしていない場合があります。そのため、病院で肝炎ウイルス検査を受けて陽性であった患者さんを対象として、受診につながらなかった理由を明らかにすることを目的としています。本研究は、国立国際医療研究センター、肝炎・免疫研究センター、肝炎情報センターに情報を提供します。この研究で収集される情報は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で、暗号化して電子メールで国立国際医療研究センターに送付します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2029 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2014 年 4 月~2026 年 3 月に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵内科以外で肝炎ウイルス検査（HBs 抗原および HCV 抗体検査）を受け、陽性と判定された方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ
試料・情報の 提供を行う機関の名 称及びその長の氏名 (提供元について)	機関名：公立大学法人大阪 大阪公立大学 機関の長の氏名：理事長 福島伸一
提供する試料・ 情報の取得の方法	診療の過程で得られた診療情報
提供する試料・ 情報を用いる研究に 係る研究責任者	研究代表者：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター、肝炎・免疫研究センター、肝炎情報センター 是永 匡紹
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。

連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 肝胆膵内科 担当者氏名：小塚 立蔵 電話番号：(06) 6645-3905
------------	---